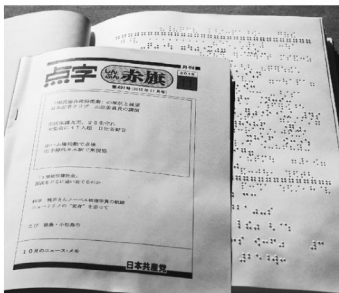


視覚障害者のために発行されている点字「しんぶん赤旗」、「声の赤旗日曜版」をご存じでしょうか。

点字「赤旗」は月刊で、日刊紙の記事からその時々政治の動きや問題点、障害者の運動、行業などから選び、60ページくらいに編集しています。

1975年1月に創刊、毎月20日に発行し、ことし12月で492号になります。月刊で点字誌を発行する政党機関紙は「赤旗」だけです。読者からは「政党で出し続け

## 声と点字でも情報発信



㊦点字しんぶん赤旗  
㊧声の赤旗日曜版



ている点字「赤旗」を誇りにしている「時々の政治のことがわかる。『旅』の記事が楽しみ」などの感想が寄せられています。

11月号は志位和夫委員長の日本記者クラブでの講演、「ホーム柵始動で点検 山手線で東視協」などの記事が掲載されています。

「声の赤旗日曜版」を発行するのは、福岡市にある「視覚障害者友情の

会」(諸岡敏一郎会長。日曜版編集部、朗読ボランティア(俳優・声優、劇団員・詩人など)の協力を得て、毎週90分のカセットテープとCDに収録。「友情の会」が全国500人を超える会員に郵送しています。

「声の日曜版」が産声をあげたのは1966年。福岡市に住む共産党員の女性が近所の視覚障害者に「赤旗」日曜版を読み聞かせていたことが

きっかけです。やがてテープに録音されるようになり、「友情の会」の発足につながりました。

半世紀にもおよぶ地道なボランティア活動。「友情の会」はことし4月、長年にわたり社会奉仕活動をしてきた団体・個人に送られる緑綬褒章を団体受章しました。

点字「赤旗」は来年8月に500号、「声の日曜版」は来年4月に創刊50年を迎えます。